

第96回 ほほえみ 開催

3月15日（水）第96回 ほほえみを開催しました。
10名の方が参加してくれました。

2月よりリフレクソロジーボランティアを一時休止しておりますが、今回より気功ヒーリングのボランティアを開始することになりました。

内容は別のものとなりますが、参加者からは好評でしたので、是非体験下さい。今後も、リフレクソロジー・気功ヒーリングを通じてリラクゼーションを提供できればと思います。



【がんサロン事務局】

次回のほほえみは、4/19（水）14時から16時まで
北館3階 大会議室での開催となります

『“がんの完治”に思うこと』

（がん体験記）

かつて、あれほど“死の病”と恐れられていたがんも、今では“完治も可能”と言われるまでに医療は進歩しました。

そこには検査機器の発展や新薬の開発など、私たちの見えないところで、日夜、研究を重ねているたくさんの人たちのお蔭だと、感謝せずにはいられません。

そんな中、私たち一人一人の意識も変わってきたように感じます。生活習慣の見直しや、早期発見のための検診がいかに大切かも、少しずつですが、理解が広がってきたのではないのでしょうか。

そんな時代の中にも、時に、“がんの完治”ということに疑問を抱いてしまうことがあります。それは、やはり“再発”という不安です。

手術から5年が絶っても、10年が過ぎても、
「いつか再発するかもしれない」

という思いが、心のどこかに潜んでいるのも事実。そのための検査も続けていかなければならないのも現実です。

『完治』という証明書もなければ、『再発しません』という保証もない。

「いつになったら“がん”という病気から離れられるのだろう・・・」

と、思ってしまいます。

一度貼られた『がん』というレッテルは、いつか剥がされる日は来るのでしょうか。

だからこそ、願っています、“がんの撲滅”。

すべての人たちの思いが“完治”という形になって、この世から、がんでつらい思いをする人がいなくなることを――。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）